

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 深川大会 テクニカルミーティング

実施日時

2020年7月7日(火) 15:00～

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場全体図・ゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

新型コロナウイルス感染症緊急時対策

新型コロナウイルス感染対策本部

- ⇒シリーズ全体対策責任者:河野 匡(日本陸上競技連盟 強化委員会 長距離マラソンディレクター)
- ⇒深川大会対策責任者:久保田 慎二(深川市教育委員会生涯学習スポーツ課 主幹)
- ⇒主催者:橋本 秀樹(北海道陸上競技協会 専務理事)
- ⇒日本陸連事務局:平野 了(日本陸上競技連盟 強化部強化育成課 課長)

感染症緊急時の対応

- ⇒拡大防止の観点から、拡大の可能性が少しでもある場合は対策本部の判断により、即**中止**とする
- ⇒開催の是非は、北海道および空知管内および周辺自治体での感染者状況を判断材料とする
- ⇒競技者及び関係者には大会終了後2週間(7/18迄)の感染状況の確認期間を義務付ける
- ⇒感染状況の確認期間内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本人またはチーム責任者が大会対策本部連絡窓口(dc2020@jaaf.or.jp)に速やかに連絡することを義務づける

医療体制の準備

- ⇒仮設医務室としてテントを準備し、医療従事者が常駐する
- ⇒医療用個人防護服(フェイスシールド、ゴーグル、手袋、マスク、白衣など)を準備する
- ⇒仮設医務室とは別に、隔離用テントを準備する。
感染が疑われる者が出た場合は、速やかに隔離して保健所に指示を仰ぐ

大会までの対応事項

体調チェック表の提出

7月7日(火)11時00分までに dc2020med@jaaf.or.jp にチームごと又は個人で提出

※チームスタッフADで入場される方も必ずご提出ください。

※未提出の場合は、出場及び会場への入場はできません。

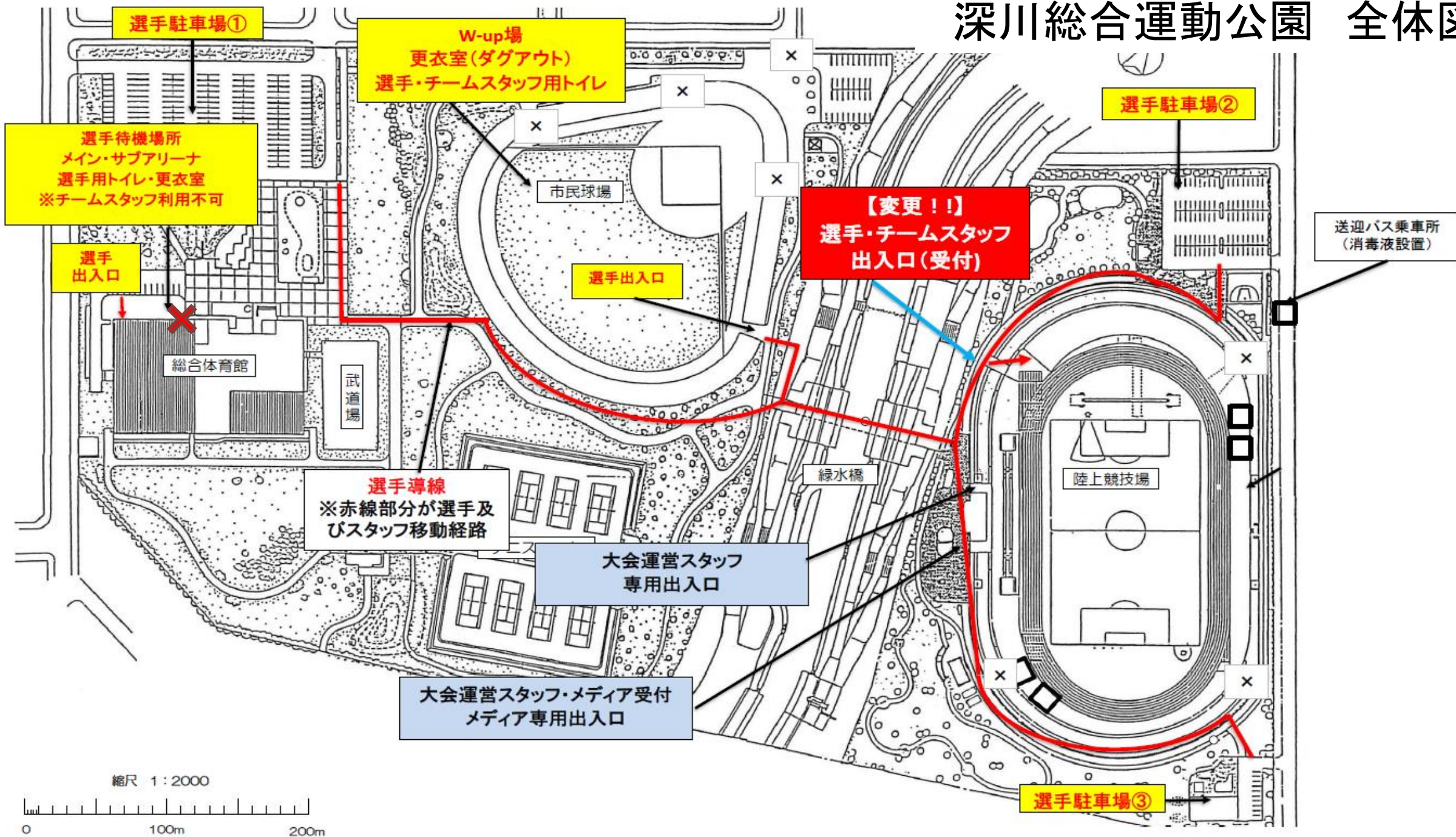
質問フォームの提出期限

7月7日(火)12時00分まで、質問があれば回答フォームにて提出

<https://forms.gle/Z3zDpmHdiVA64CMM8>

⇒事前に頂いた質問は、テクニカルミーティング内で回答いたします。

深川総合運動公園 全体図



大会当日、来場から競技者受付まで

◎大会当日に発熱、またはチェック表に該当する症状がある場合は、出場を回避すること。

※合わせて対策本部連絡窓口 (dc2020@jaaf.or.jp)へ欠場の連絡をする

◎競技者・チームスタッフ入口は、フィニッシュ付近の1箇所とする。 

◎受付でチーム代表者1名による参加賞・ナンバーカード・ADカード受け取りを行う。

⇒代表者は、チェックリスト提出後に発熱や、チェックリスト項目の該当事項の有無を口頭で報告。

◎ADカードは参加人数が3名以内のチームには2枚、4名以上のチームには3枚配布する。

※ADカードのない者の競技場入場は認めない。

※ADカードは全大会共通で使用する。複数大会出場する選手、チームは各自保管すること。

◎競技場入口では手指消毒を行うこと。

◎受付の際は並べられているマークの通り、ソーシャルディスタンスを確保して並ぶこと。

待機、W-upから招集・スタート、レース中

- ◎競技者・関係者チームスタッフエリア（メインストレート以外）内、市民球場、総合体育館で待機する。
 - ※密集を避けるため、市民球場、総合体育館は選手のための利用可とする。
- ◎競技者はW-upおよび競技中、C-down時以外、関係者は常時、会場内でのマスク着用を義務付ける
- ◎W-upは市民球場および公園内を使用できる。
- ◎競技者とチームスタッフは市民球場内、総合体育館内のトイレのみ使用可能。
 - 更衣用スペース内は、使用可能人数等の密集しないように心がけること。
- ◎待機テント付近のテーブルに置かれた、腰ナンバーをスタート15分前から各自ピックアップする。
 - ※腰ナンバーのピックアップを唯一の召集作業とする。
- ◎スタート地点の待機テントは、前の組の選手たちが移動し、係員が指示を出したら待機可能。
 - ただし、テント内での待機中も、ソーシャルディスタンスに十分留意する。
- ◎出場選手の衣服は、チーム関係者がスタート後回収し、テント内に放置しない。
- ◎個人参加の選手は、テント内に準備されたビニール袋に衣服を入れてテント内に置き、フィニッシュ後、選手自身で速やかに回収すること。
- ◎男女10000mでは給水を準備する。
 - 男女5000mは、天候状況に応じ、必要な場合のみ給水を準備する

市民球場の利用について

◎選手・チーム関係者スペースとして利用できる。

◎グラウンド（土）のスペースは選手W-upスペース。

⇒周回する場合は反時計回り

◎外野の芝及び外野スタンドは、フリースペースとして開放。

◎チームスタッフは市民球場内のトイレのみ使用すること。

⇒1塁側（男子）、3塁側（女子）。それ以外は使用禁止。

※選手は総合体育館内のトイレも利用可能です。

◎更衣室はダッグアウト（男子1塁側・女子3塁側）を使用。

⇒ブルーシート等で外から見えないように養生。密集しないよう、距離を保って利用すること。

※ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。

フィニッシュ後

◎メディア対応以外は、フィニッシュ付近に留まらず、速やかにチーム待機所へ移動する

⇒フィニッシュ後の待機テントは設置しない

◎フィニッシュ後できるだけ早く手洗い、洗顔を励行する

◎自分のレースが終わったら、極力観戦はせずに宿舎に戻ることに。

※移動の関係で会場に残る場合は、ソーシャルディスタンスを確保するか、マスクの着用を徹底すること。

インタビュー・メディア対応

大会ライブ配信用カメラ

対象者：各レース1着選手（外国人が1着の場合は、日本人1着選手と2名で）

場所：グランドレベルに設置するライブ配信用カメラ前

内容：一言コメント（ファンへのメッセージおよび、開催自治体への感謝の言葉など）

※メディアからの取材リクエストのない選手はこれで終了。エリアに沿ってチームの居場所へ移動。

メディア（テレビ・新聞社等）対応

対象者：リクエストのあった選手のみ

場所：フィニッシュ付近に設置する取材エリアへ移動

◎テレビ撮影（代表してNHKが実施）およびオンライン取材

イヤフォンを用いてオンライン取材をお願いいたします（イヤフォンは随時消毒）

※インターネットの状況により、取材方法を変更させていただく場合がございます。

※メディア対応終了後、エリアに沿って退場

※取材リクエストのある選手は事前に団体申込で登録した連絡先に取材引き受け可否を日本陸連広報から確認

※当日に急遽取材対応を依頼させていただく場合があります。インタビューを控えたい場合は、その際にお知らせください。

*** ライブ配信用コメントおよびメディア取材対応には日本陸連担当者がアattendいたします。**

インタビュー・メディア対応

①ライブ配信用コメント



③新聞社記者対応



②テレビ局取材対応



フィニッシュ後のメディア対応は寒くないようにウェアを着用いただいて結構です。フィニッシュ付近までチームスタッフの方がスタート地点（3000m、5000m）で預かったウェアをお持ちいただきますよう、ご協力お願いいたします。

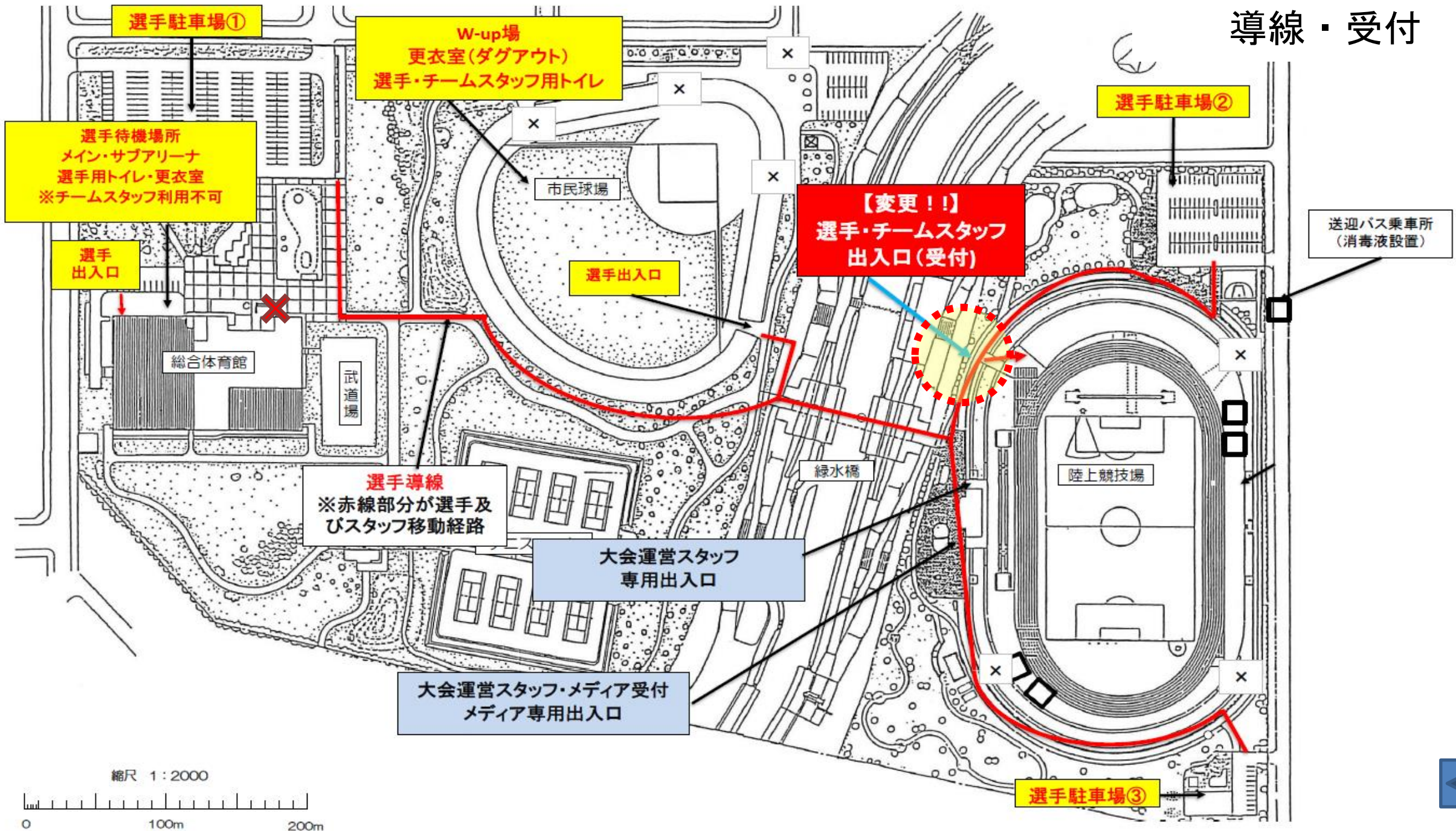
大会終了後

◎ごみは、各自自己責任で持ち帰ること。

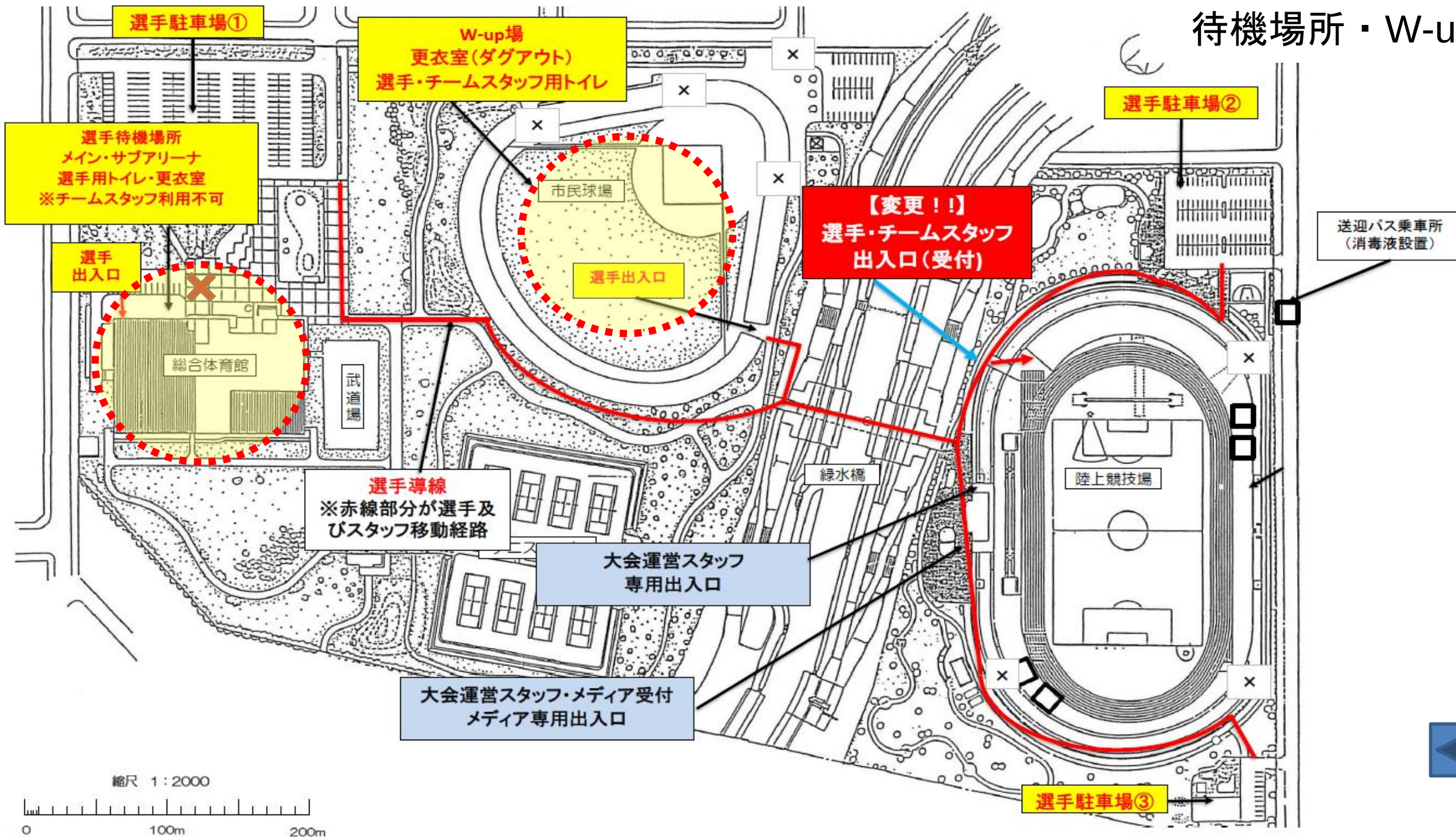
◎大会終了後から2週間(7/18迄)は感染状況確認期間とし、期間内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本人またはチーム責任者が大会対策本部に速やかに連絡することを義務づける。

報告先: dc2020@jaaf.or.jp

導線・受付



待機場所・W-up



スタート前・腰ナンバーのピックアップ

